

第 1 7 回 豊川市地域公共交通会議 資料

<目 次>

1. 【報告事項】平成24年度決算書報告および平成25年度予算
2. 【報告事項】平成24年度事業評価報告
3. 【報告事項】住民説明会報告
4. 【報告事項】平成25年5月までの運行実績
5. 【報告事項】平成25年度の協議会スケジュール
6. 【協議事項】平成25年度に実施するバス路線の見直し
7. 【協議事項】生活交通ネットワーク計画
8. 【協議事項】利用促進に関する取組み
9. 【その他】

平成25年6月18日

1. 【報告事項】平成24年度決算書報告および平成25年度予算

1-1 平成24年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出決算書及び決算監査報告書

平成24年度の決算書を以下に示します。

平成24年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出決算書

1. 歳 入

単位：円

科 目	① 予算額（流用後）	② 収入済額	備 考
1 負担金及び補助金	1,130,000	1,130,000	
1 負担金	1,130,000	1,130,000	豊川市から
2 国庫補助金	0	0	
2 繰越金	107,895,755	107,895,755	平成23年度運行計画調査業務委託費、コミュニティバス運行負担金、交通会議剰余金
1 繰越金	107,895,755	107,895,755	
3 雑入	1,000	6,240	
1 広告料収入	0	0	基幹路線車両広告手数料
2 雑入	1,000	6,240	預金利子等
合 計	109,026,755	109,031,995	

2. 歳 出

科 目	① 予算額（流用後）	② 支出済額	備 考
1 事業費	50,875,794	50,715,794	
1 委託料	6,510,000	6,510,000	23年度運行計画調査業務委託費
2 負担金	44,165,794	44,165,794	23年度コミュニティバス運行負担金
3 補助金	200,000	40,000	地域協議会活動支援補助 1地域40千円
2 備品購入費	0	0	
1 備品購入費	0	0	
3 需用費	927,370	924,700	
1 消耗品費	587,695	585,025	利用促進イベント、事務用消耗品費等
2 印刷製本費	339,675	339,675	利用促進ポスター等
4 工事請負費	0	0	
1 工事請負費	0	0	
5 役務費	2,630	2,630	景品受取代金
1 通信運搬費	2,630	2,630	
6 雑費	57,219,961	57,219,961	市へ返戻（平成23年度交通会議剰余金）
1 繰出金	57,219,961	57,219,961	
7 予備費	1,000	0	
1 予備費	1,000	0	
合 計	109,026,755	108,863,085	

平成24年度豊川市地域公共交通会議予算残額

＝収入済額－支出済額＝109,031,995円－108,863,085円＝168,910円につきましては、平成25年度豊川市地域公共交通会議予算に繰越し、豊川市に返戻します。

平成24年度豊川市地域公共交通会議

決算監査報告書

平成24年度豊川市地域公共交通会議の歳入歳出決算について、諸帳簿及び証拠書類等を監査しました結果、いずれも正確かつ適正であることを認めます。

平成25年 3月29日

豊川市地域公共交通会議

監 査 委 員

渥美昌之 

2. 【報告事項】平成24年度事業評価報告

豊川市コミュニティバスは、一部の路線（系統）では国の補助メニューである地域公共交通確保維持改善事業を活用して運行しており、地域公共交通確保維持改善事業の事業評価を受けるために、前回会議で提示した所定の様式に基づく自己評価シート、概要資料、及び参考資料を国に提出しました。

それに基づいて、5月17日に中部運輸局で行われた第三者評価委員会に出席しました。

二次評価の結果は、現在、中部運輸局において整理中のため、次回の会議で報告いたします。

1. 日 時 平成25年5月17日（金） 13：00～16：00

2. 場 所 名古屋合同庁舎1号館（11階運輸大会議室）

3. 出席者 第三者評価会員6人、豊川市地域公共交通会議出席者：事務局員2名
（同一時間帯に他の地域公共交通会議等6団体と合同で出席）

4. 内 容 平成24年度事業評価の説明、評価委員との意見交換

1－2 平成25年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出補正予算書（案）

平成25年度の補正予算書を以下に示します。

平成25年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出補正予算書（案）

1. 歳 入		単位：円			
科 目		①本年度 当初予算額	② 補正額	③ 補正後 予算額	備 考
1 負担金 及び 補助金		998,000	0	998,000	
	1 負担金	998,000	0	998,000	豊川市から
	2 国庫補助金	0	0	0	
2 繰越金		166,000	2,910	168,910	平成24年度交通会議剰余金
	1 繰越金	166,000	2,910	168,910	
3 雑入		1,000	0	1,000	
	1 広告料収入	0	0	0	
	2 雑入	1,000	0	1,000	預金利子等
合 計		1,165,000	2,910	1,167,910	

2. 歳 出		単位：円			
科 目		① 本年度 当初予算額	② 補正額	③ 補正後 予算額	備 考
1 事業費		200,000	51,000	251,000	
	1 委託料	0	0	0	
	2 負担金	0	51,000	51,000	夏休み小学生50円バス実行委員会負担金
	3 補助金	200,000	0	200,000	地域協議会活動支援補助 1地域50千円×4地域
2 需用費		790,000	△51,000	739,000	
	1 消耗品費	590,000	0	590,000	①利用促進イベント 380千円 ②事務用消耗品費 210千円
	2 印刷製本費	200,000	△51,000	149,000	利用促進ポスター等
3 役務費		8,000	0	8,000	振込手数料
	1 手数料	8,000	0	8,000	
4 雑費		166,000	2,910	168,910	市へ返戻(平成24年度交通 会議剰余金)
	1 繰出金	166,000	2,910	168,910	
6 予備費		1,000	0	1,000	
	1 予備費	1,000	0	1,000	
合 計		1,165,000	2,910	1,167,910	

※ 各科目間の予算は、相互に流用できるものとする。

3. 【報告事項】住民説明会報告

平成25年5月の市民病院開院に伴う豊川市コミュニティバスの路線変更に関する住民説明会の開催の様子を以下に示します。

3-1. 説明会概要

開催日時や会場、参加人数等を以下に示します。

開催日	時間	会場	部屋	説明する主な路線	参加人数
4月13日(土)	10時	音羽文化ホール	大会議室	音羽線 豊川国府線	24名
4月13日(土)	14時	御津文化会館	研修室	御津線 豊川国府線	53名
4月14日(日)	10時	勤労福祉会館	視聴覚室	豊川国府線 ゆうあいの里小坂井線 豊鉄バス(株)新豊線・豊川線	12名
4月14日(日)	14時	農業者トレーニングセンター	視聴覚室	一宮線 豊鉄バス(株)新豊線・豊川線	49名
4月20日(土)	10時	小坂井生涯学習会館	集会室	ゆうあいの里小坂井線	21名
4月20日(土)	14時	桜ヶ丘ミュージアム	和室	豊川国府線 千両三上線 ゆうあいの里小坂井線 豊鉄バス(株)新豊線・豊川線	26名

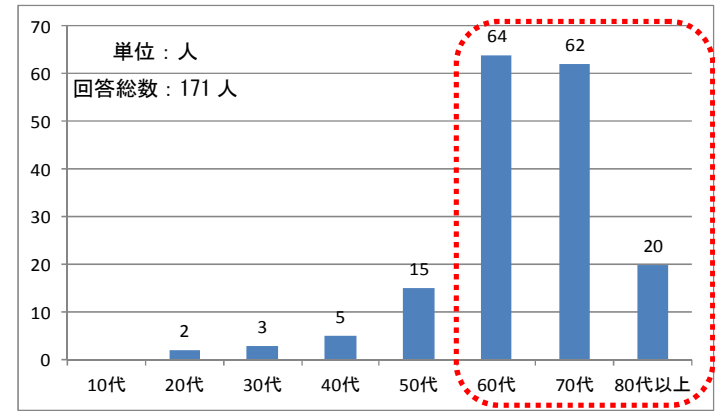
総参加人数：185名

3-2. 説明会の出席者へのアンケート結果

説明会参加者の属性等を把握するためアンケートを実施しました。

(1) 参加者の年齢

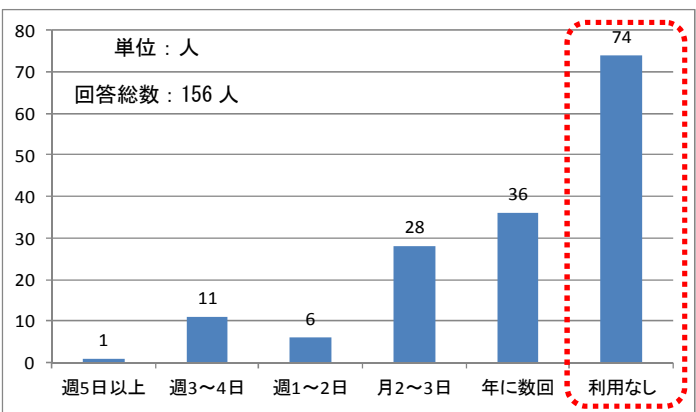
説明会の出席者の年齢層は60代以上が多く、85%を占める結果となっています。



全体の 85%

(2) 参加者のバスに乗る機会

新規に運行する地域もあるため、バスを利用したことがないという層が47%を占める結果となっています。



全体の 47%

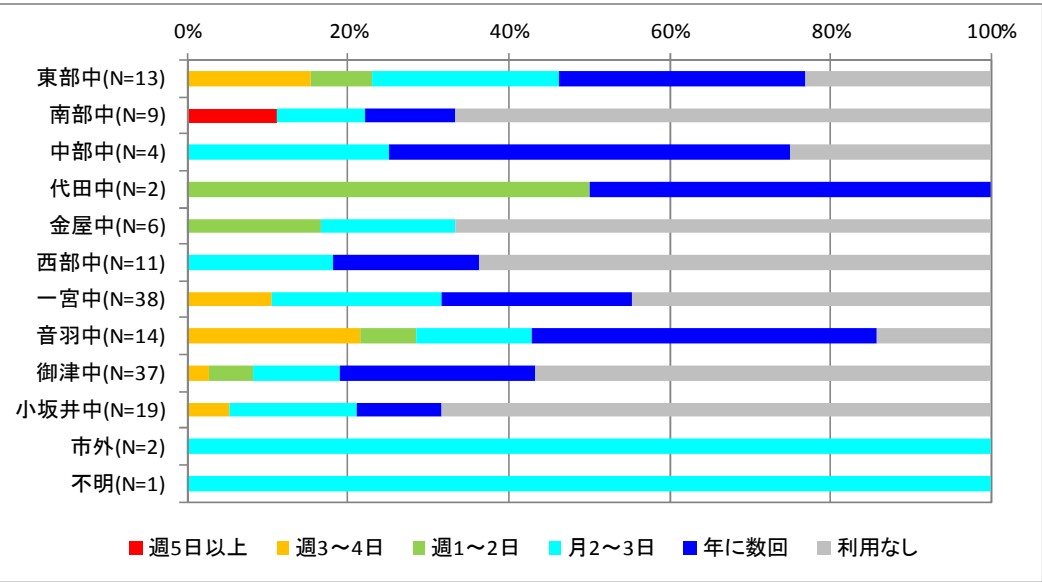
(3) 自由意見

参加者から寄せられた主な自由意見は以下の通りです。

- ・利用したことがないので、乗ってみたい。バスが運行していることはありがたい。(意見多い)
- ・本数と運賃のゾーン制を見直ししてほしい。
- ・利用者数を増やすため工夫や取組、地域としての取り組みも必要である。
- ・広報を充実してほしい。
- ・バス停に屋根や椅子がほしい。

(4) 居住の中学校区とバスに乗る機会

バスを利用したことがある回答割合が約80%前後と高い中学校区は、東部、中部、代田、音羽の4中学校区であり、残りの6中学校区では、半数以上の方がバスを利用したことがないと回答しています。



3-3. 説明会の様子

各地域で行われた説明会の様子を以下に示します。



図) 音羽文化ホール



図) 御津文化会館



図) 勤労福祉会館



図) 農業者トレーニングセンター



図) 小坂井生涯学習会館



図) 桜ヶ丘ミュージアム

4. 【報告事項】平成25年5月までの運行実績

4-1 豊川市コミュニティバス運行開始後の利用者数の推移

- 平成23年11月から平成25年5月までの利用者数の推移を以下に示します。
- 平成23年11月の運行開始から平成25年5月までの19ヶ月間で、延べ約11万人の利用がありました。

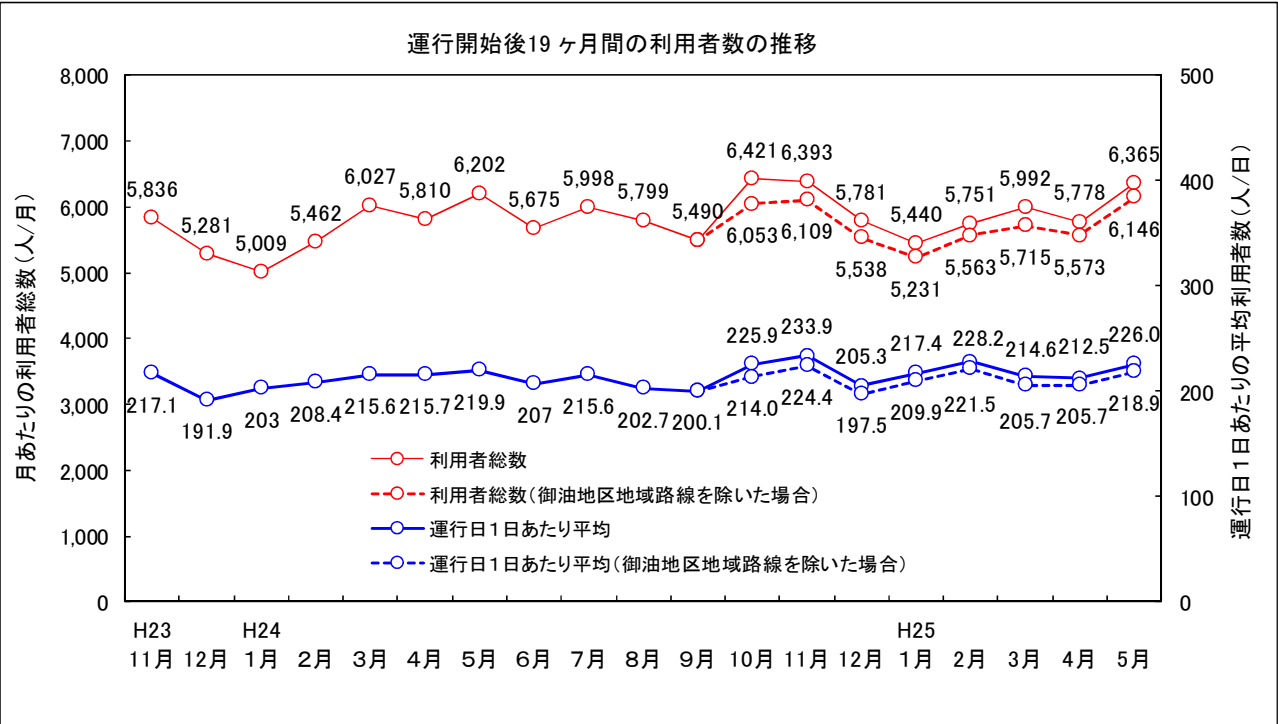


図-運行開始後19ヶ月間の利用者数の推移

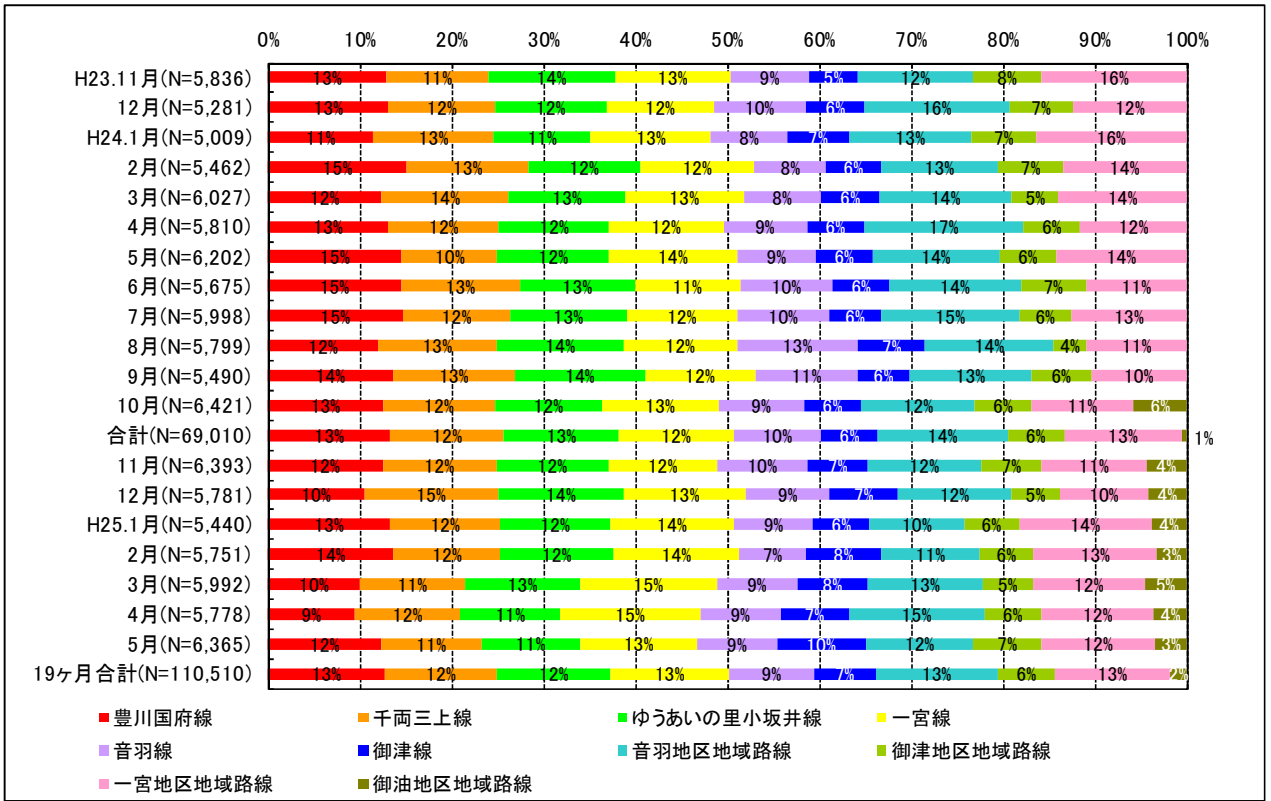


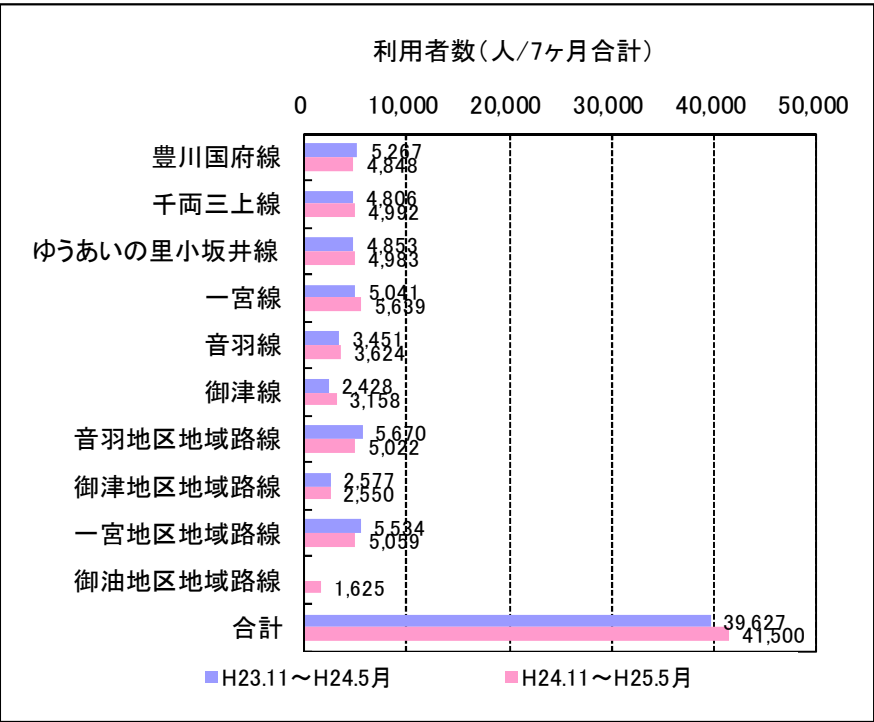
図-利用者数全体に占める路線別の利用者割合

4-2 路線別の月別利用者数

- 路線別では、平成24年10月に運行を開始した御油地区地域路線を除く9つの路線のうち、基幹路線の5路線で前年同月(11月～5月)より増加しています。特に一宮線と御津線の増加が大きくなっています。
- 一方で、豊川国府線の利用が前年同月比や月別変動の両方で減少している傾向にあります。

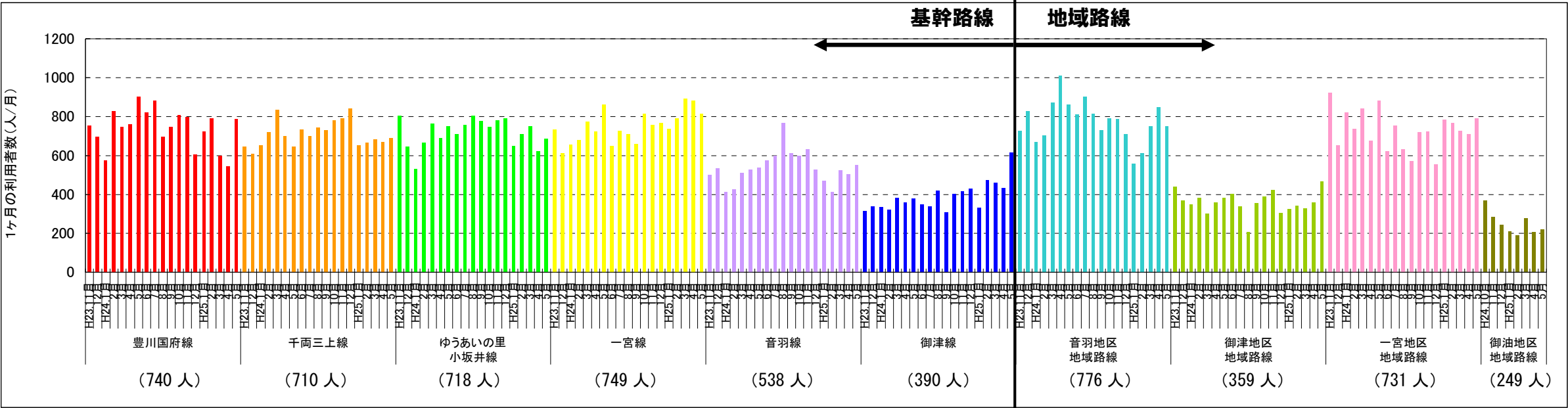
平成23年11月～平成24年10月											
路線名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊川国府線	753	696	576	828	747	762	905	823	881	697	746
千両三上線	646	608	653	719	834	701	645	732	701	745	730
ゆうあいの里小坂井線	805	644	532	665	763	692	752	711	758	805	776
一宮線	733	612	655	681	774	724	862	650	725	711	660
音羽線	499	533	415	427	511	529	537	574	599	769	612
御津線	314	338	335	321	382	360	378	349	338	420	308
音羽地区地域路線	726	828	671	703	870	1,011	861	810	903	813	731
御津地区地域路線	438	369	349	380	304	357	380	404	339	207	354
一宮地区地域路線	922	653	823	738	842	674	882	622	754	632	573
御油地区地域路線											
合計	5,836	5,281	5,009	5,462	6,027	5,810	6,202	5,675	5,998	5,799	5,490

平成24年11月～平成25年5月											
路線名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊川国府線	797	606	724	789	600	545	787				
千両三上線	792	842	652	665	684	668	689				
ゆうあいの里小坂井線	779	790	648	708	751	622	685				
一宮線	756	768	736	791	891	884	813				
音羽線	633	529	469	413	526	503	551				
御津線	416	429	333	474	459	432	615				
音羽地区地域路線	788	712	560	613	750	850	749				
御津地区地域路線	424	306	324	341	329	360	466				
一宮地区地域路線	724	556	785	769	725	709	791				
御油地区地域路線	284	243	209	188	277	205	219				
合計	6,393	5,781	5,440	5,751	5,992	5,778	6,365				

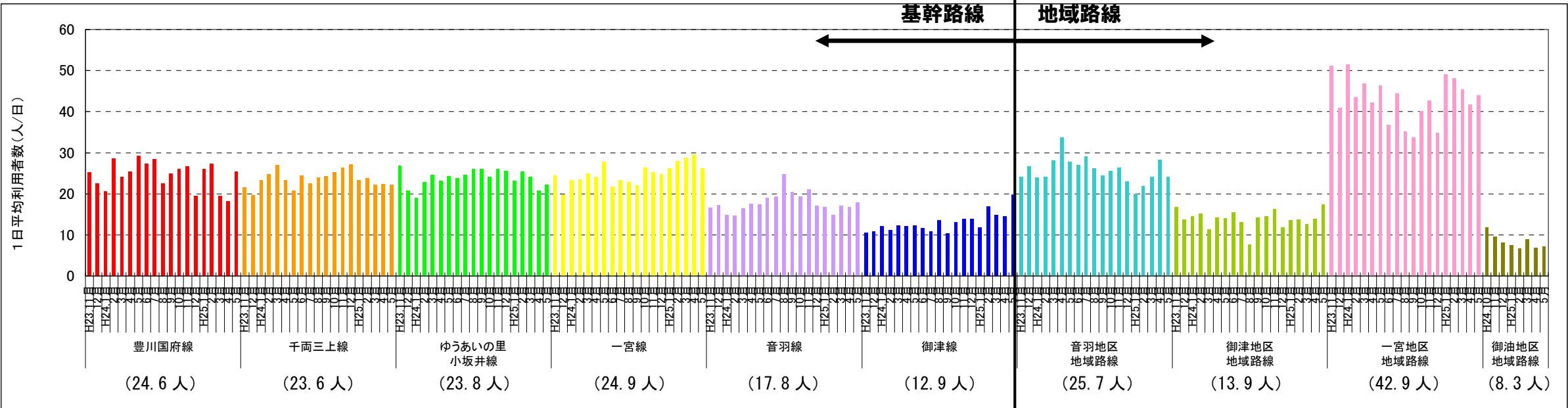


4-3 路線別の月別利用者数

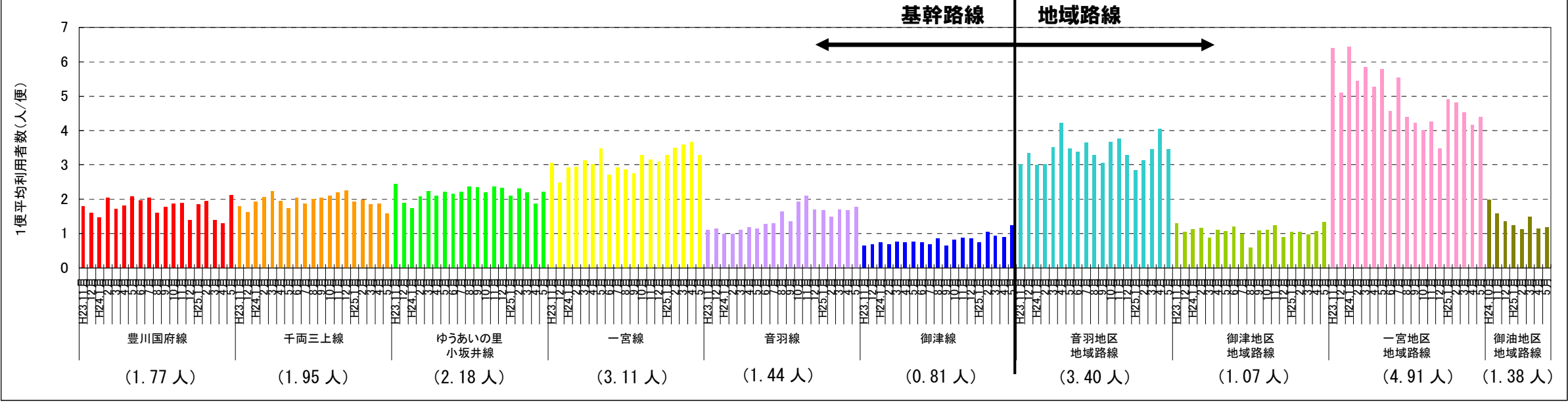
(1) 路線別の利用者数



(2) 1日当たりの平均利用者数



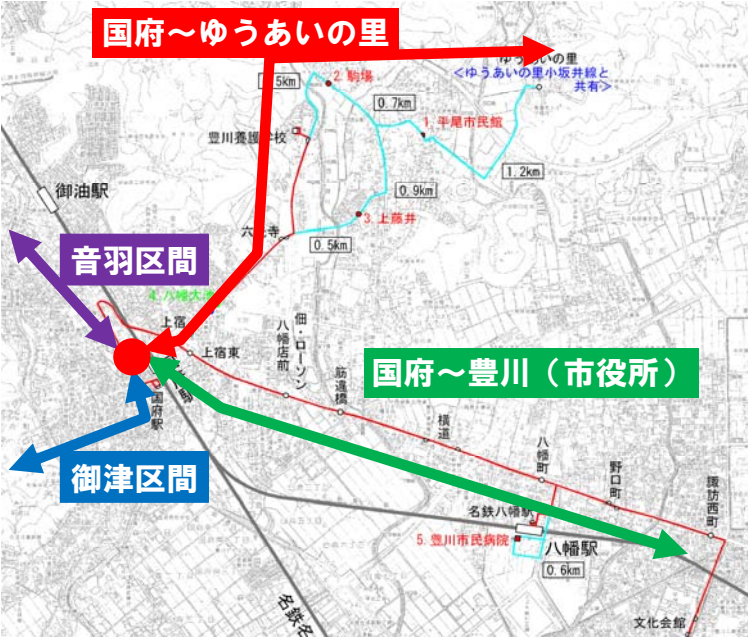
(3) 1便当たりの平均利用者数



4-4 豊川市民病院開院後の利用者数の変化

平成25年5月の豊川市民病院開院に伴う豊川市コミュニティバスの路線変更により、特に大きく路線が変わった豊川国府線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線について、平成25年4月と5月の利用状況の変化を見るため、区間別の利用者数や主要バス停の利用者数を以下に示します。

(1) 路線別の利用者数

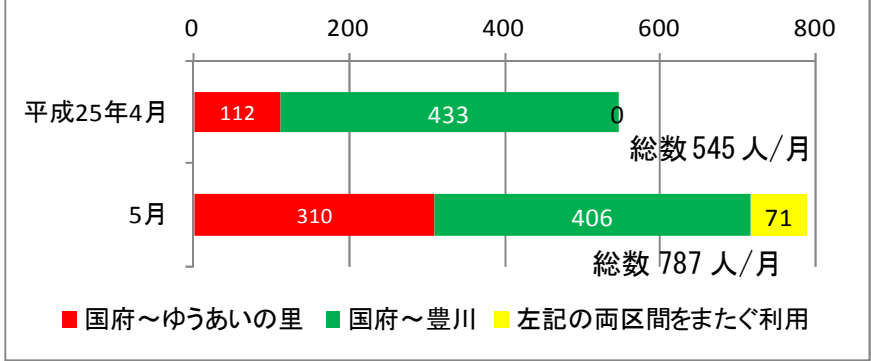


①豊川国府線

国府駅を境として、国府～ゆうあいの里、国府～豊川、両区間をまたぐ利用の3つの区間に分けた利用状況を以下に示します。

国府～ゆうあいの里では、4月に比べて5月の利用者数が198人/月増加しています。新規利用としてゆうあいの里バス停利用が139人/月に至っていることと、豊川養護学校バス停利用が71人/月増加したことが大きく影響しています。

国府～豊川（両区間をまたぐ利用も含む）では、4月に比べて5月の利用者数が44人/月減少しています。時間帯によっては音羽線や御津線の利用が可能であるため、音羽線や御津線の市役所直通便に分散していることが考えられます。

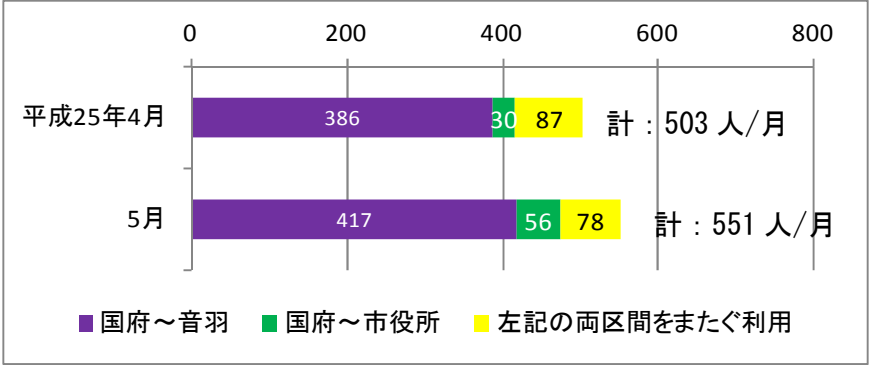


音羽線と御津線の国府駅を境として、国府～音羽・御津、国府～市役所、両区間をまたぐ利用の、3つの区間に分けた利用状況を以下に示します。

②音羽線

音羽線は右記の御津線ほどの大きな変化はありませんが、国府～音羽では4月に比べて5月の利用者数が31人/月増加し、国府～市役所（両区間をまたぐ利用も含む）では4月に比べて5月の利用者数が17人/月増加しています。

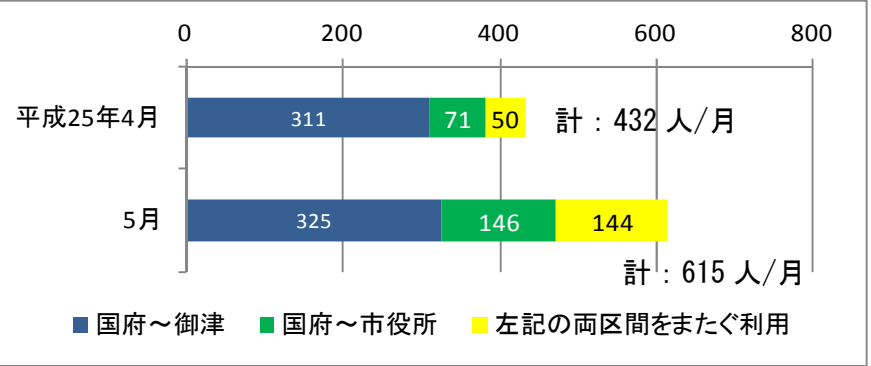
全体では48人/月の増加となっています。



③御津線

国府～御津では4月に比べて5月の利用者数が14人/月増加し、国府～市役所（両区間をまたぐ利用も含む）では4月に比べて5月の利用者数が169人/月増加し、国府～市役所で約2.1倍、両区間をまたぐ利用では約2.9倍となっています。

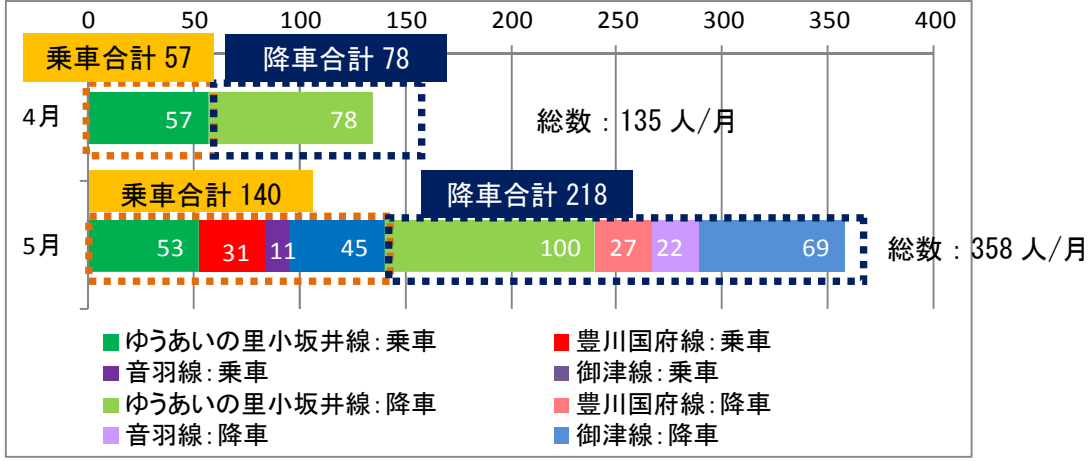
全体では183人/月の増加となっています。



(2) 「豊川市民病院」バス停の乗降者数の変化

豊川市コミュニティバスの「豊川市民病院」バス停の乗降者数の変化を以下に示します。

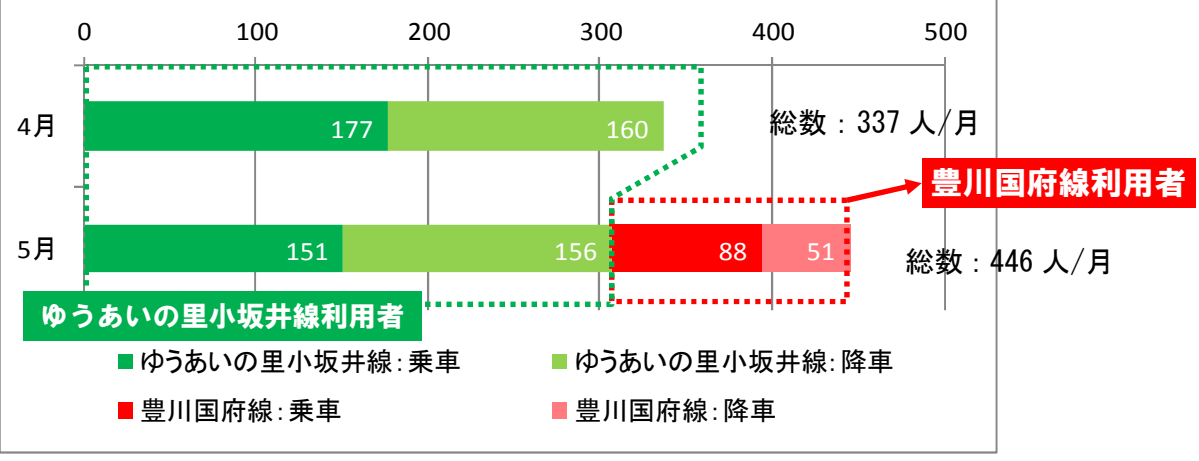
平成25年5月の路線変更後、5月の乗車数の合計は140人/月、降車数の合計は218人/月となりそれぞれ、4月の旧市民病院バス停と比べて乗降利用者は223人/月増加して約2.7倍となっています。



(3) 「ゆうあいの里」バス停の乗降者数の変化

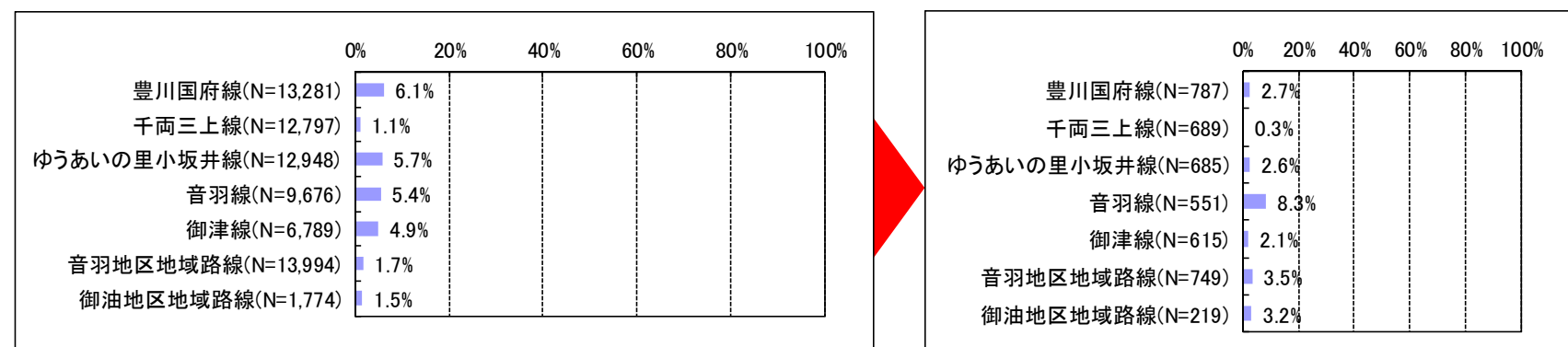
豊川市コミュニティバスの「ゆうあいの里」バス停の乗降者数の変化を以下に示します。

ゆうあいの里小坂井線を利用する方は減少していますが、豊川国府線を利用してアクセスが可能となったため、平成25年5月ではバス停の乗降者数は109人/月増加して約1.3倍となっています。



4-5 乗継券の発行枚数

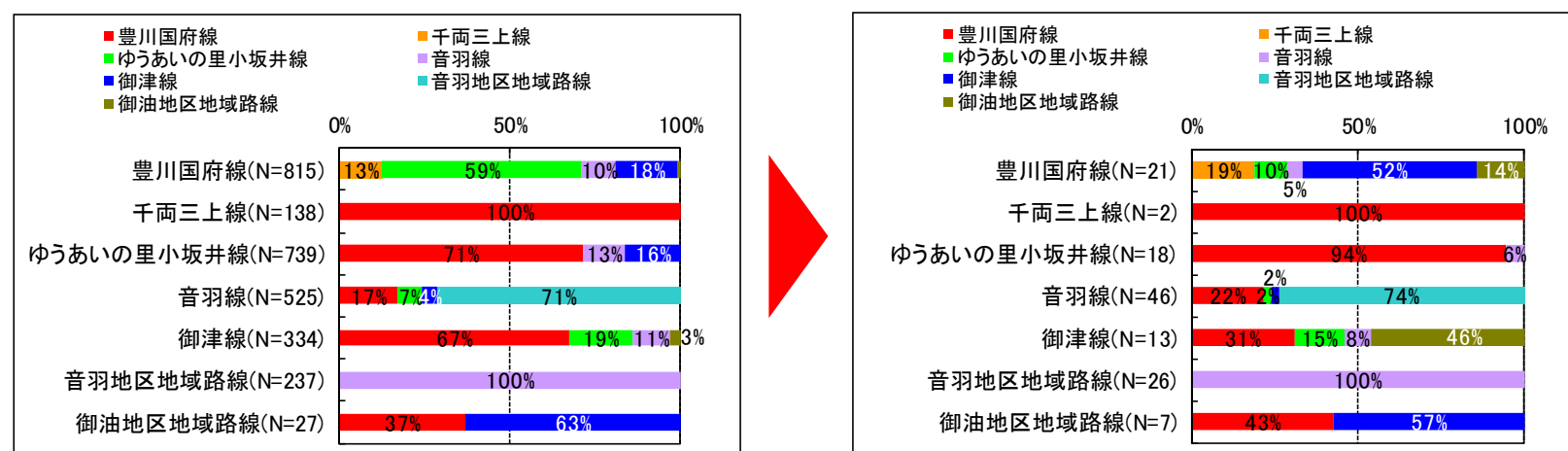
- 利用者総数に占める乗継券利用割合は、平成25年4月までは豊川国府線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線では約5～6％でしたが、5月以降は音羽線を除き約2％前後に低くなっています。
- 乗継券利用者の利用路線の内訳で、特に平成25年4月までと5月で内訳の変化が大きい路線は、豊川国府線では4月までのゆうあいの里小坂井線の多さに変わり5月では御津線が多くなり、御津線では4月までの豊川国府線の多さに変わり5月では御油地区地域路線が多くなっています。



運行開始から平成25年4月までの割合

平成25年5月の割合

図-路線別の乗継券の発行割合



運行開始から平成25年4月までの乗継割合

平成25年5月の乗継割合

図-乗継券利用者の利用路線の内訳

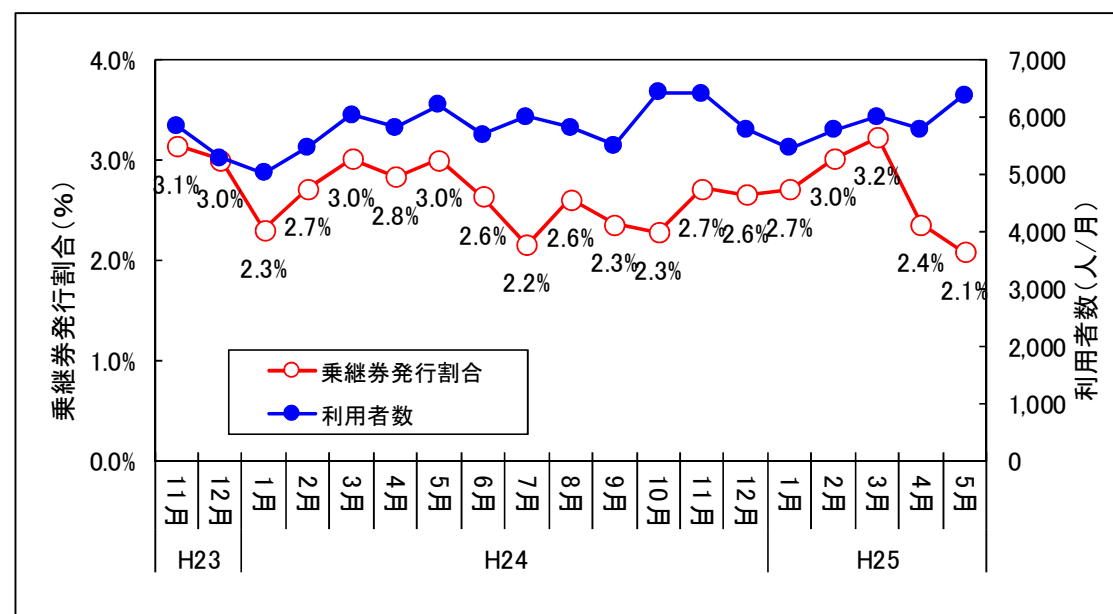
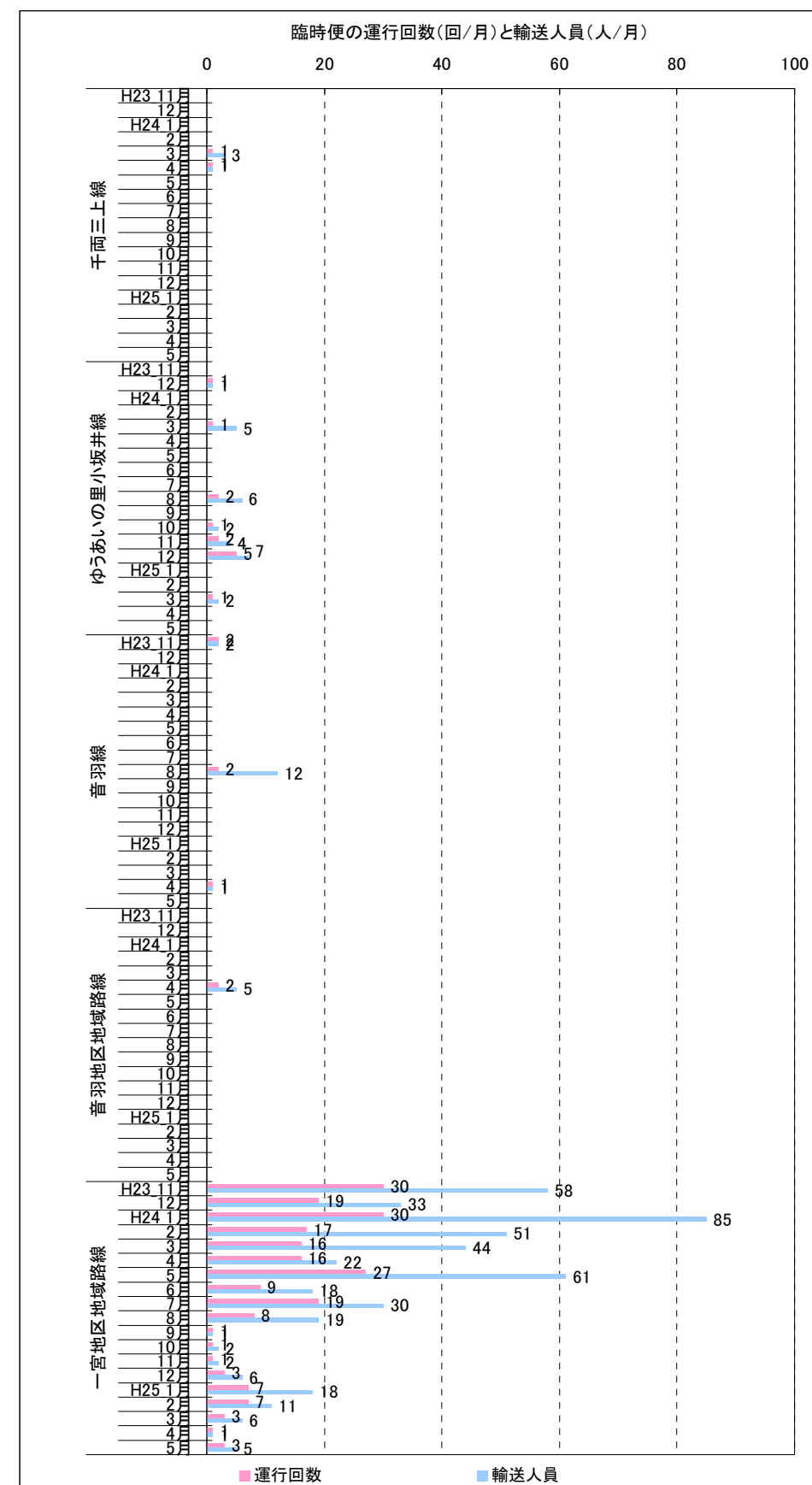


図-乗継券の発行割合と利用者数の推移

4-6 定員超過時に追加運行した臨時便の運行回数

- 運行開始以降、臨時便が運行された路線は、下図の5路線（千両三上線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、音羽地区地域路線、一宮地区地域路線）となっています。
- 一宮地区地域路線では、平成24年10月の2系統（西・東回り）から3系統（西・中・東回り）への見直しにより、運行回数が大幅に減少しました。



4-7 回数券の利用比率

○回数券の利用は、販売開始後の平成24年11月から7ヶ月の累計では路線全体で50%が利用し、前回会議時点の平成24年2月までの累計48%に比べて、2%増加しています。

4-8 平成24年度路線別収支率（H24.4～H25.3の12ヶ月間の実績）と利用者1人当たり負担額、及び1便当たり負担額

○基幹路線全体では、9.23%となっており、目標の13%より約4%下回っています。路線別では、千両三上線とゆうあいの里小坂井線では目標を達成していますが、その他の路線では、目標を下回っています。

○地域路線全体では、9.95%となっており、目標の15%に対して、つつじバス、本宮線では若干下回り、ハートフル号、ごゆりんバスでは大きく下回っています。

○豊川コミュニティバス全体では、9.44%となっています。

表-平成24年度路線別の収支率

項 目	単位	豊川国府線	千両三上線	ゆうあいの里 小坂井線	一宮線	音羽線	御津線	基幹路線計	音羽地域 つつじバス	御津地域 ハートフル号	一宮地域 本宮線	御油地域 ごゆりんバス	地域路線計	合計
通常経費(A)	円/年	19,794,075	11,425,045	12,643,130	8,942,325	12,597,972	13,389,785	78,792,332	12,882,013	8,962,824	6,602,383	4,521,569	32,968,789	111,761,121
運賃収入(B)	円/年	1,374,596	1,524,454	1,535,321	403,846	1,116,341	757,980	6,712,538	1,609,522	393,840	775,715	261,948	3,041,025	9,753,563
負担金額(A-B)	円/年	18,419,479	9,900,591	11,107,809	8,538,479	11,481,631	12,631,805	72,079,794	11,272,491	8,568,984	5,826,668	4,259,621	29,927,764	102,007,558
車体広告掲載収入(C)	円/年	288,000	26,400	120,300	0	68,400	55,200	558,300	110,400	51,700	36,000	42,000	240,100	798,400
収支率【(B+C)／(A)】	%	8.40%	13.57%	13.10%	4.52%	9.40%	6.07%	9.23%	13.35%	4.97%	12.29%	6.72%	9.95%	9.44%
前年度(H23.11～H24.3) 収支率	%	10.11%	13.75%	13.71%	5.89%	8.99%	6.41%	9.96%	17.30%	6.99%	14.49%	—	13.18%	10.77%

表-利用者1人あたりの負担額

項 目	単位	豊川国府線	千両三上線	ゆうあいの里 小坂井線	一宮線	音羽線	御津線	基幹路線計	音羽地域 つつじバス	御津地域 ハートフル号	一宮地域 本宮線	御油地域 ごゆりんバス	地域路線計	合計
平成24年度の総輸送人数(D)	人/年	9,136	8,669	8,917	9,088	6,788	4,667	47,265	9,346	4,154	8,418	1,569	23,487	70,752
国庫補助額(E)	円/年	7,710,150	3,184,800	3,847,900	0	3,605,700	3,046,900	21,395,450	0	0	2,456,700	0	2,456,700	23,852,150
負担金額(国庫補助あり(A-B-E))	円/年	10,709,329	6,715,791	7,259,909	8,538,479	7,875,931	9,584,905	50,684,344	11,272,491	8,568,984	3,369,968	4,259,621	27,471,064	78,155,408
利用者一人当たり負担額 【(A-B-E)/D】	円/人	1,172.2	774.7	814.2	939.5	1,160.3	2,053.8	1,072.3	1,206.1	2,062.8	400.3	2,714.9	1,169.6	1,104.6

表-1 便あたりの負担額

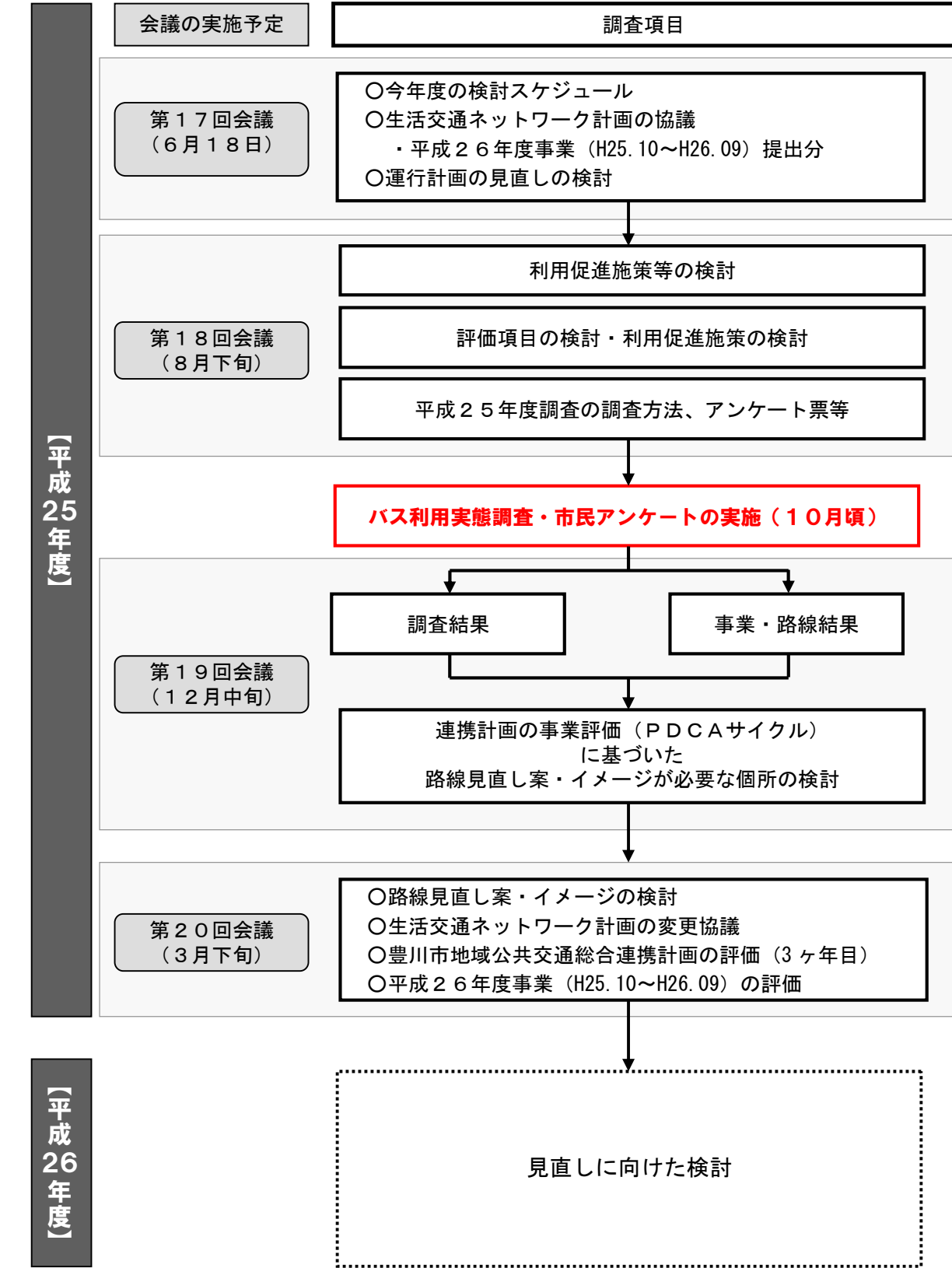
項 目	単位	豊川国府線	千両三上線	ゆうあいの里 小坂井線	一宮線	音羽線	御津線	基幹路線計	音羽地域 つつじバス	御津地域 ハートフル号	一宮地域 本宮線	御油地域 ごゆりんバス	地域路線計	合計
平成24年度の運行便数(F)	便/年	5,068	4,344	3,982	2,896	4,535	5,792	26,617	5,434	4,017	1,832	1,074	12,357	38,974
一便当たり運行補助額 【(A-B-E)/F】	円/便	2,113.1	1,546.0	1,823.2	2,948.4	1,736.7	1,654.9	1,904.2	2,074.4	2,133.2	1,839.5	3,966.1	2,223.1	2,005.3

5. 【報告事項】平成25年度の協議会スケジュール

5-1 協議会スケジュール

平成25年度においては、地域公共交通会議は合計4回の開催を予定しています。開催時期および会議の主な内容は以下のとおりです。

平成25年度は連携計画の短期計画期間の最終年度となり、現在までの各路線の利用状況等について評価を行い、平成26年度以降の対応について検討していきます。この評価に向けて、豊川市内を運行するバス路線の利用者へOD調査並びにアンケート調査に加え、また市民を対象とした市民アンケート調査を行い、バスを日常的に利用していない方の利用実態や利用意向も把握します。



5-2 平成25年度作業内容

平成25年度の主な作業内容を以下に4つ示します。

(1) 作業1：コミュニティバス路線の運行計画の見直しの検討

2つの地区の地域路線や本年秋に予定されているイベントによる運休や迂回などについて、以下の通り、運行計画の見直しの検討を予定しています。

①見直し1：【検討段階】一宮地区地域路線運行計画の見直し

平成25年6月現在、一宮地区地域路線について、ダイヤ及び運行経路・本数の変更について、本年10月からの運行開始に向けて地域協議会で検討中です。

詳細がまとまりましたら、改めて会議で諮ります。

②見直し2：【検討段階】御津地区地域路線について地域協議会の取組

平成25年6月現在、御津地区地域路線について、路線見直しを地域協議会で検討しています。詳細がまとまりましたら、改めて会議で諮ります。

③見直し3：【検討段階】B-1グランプリ開催時のバスの迂回・運休

平成25年11月9~10日(土・日)に、豊川市下でB-1グランプリが開催されます。当日は多くの人出が予想されており道路の混雑が予想されます。また、豊川市下を運行するバス路線(新豊線・豊川線・豊川市コミュニティバスの基幹路線全線)が会場間ルートおよび会場の近くを走行しているため、バスの迂回または運休等を検討中です。

交通規制やバス迂回案などがまとまりましたら、改めて会議で諮ります。



出典：B-1グランプリチラシをもとに作成



参考：B-1グランプリチラシ掲載の会場マップ

（２）作業２：利用促進イベント・施策の実施

平成２５年度は以下に示すような、利用促進イベントを実施します。

施策①：夏休み小学生 50 円バスの実施（平成 25 年 7 月 20 日～9 月 1 日）

施策②：バススタンプラリーの実施（平成 25 年 10 月）

施策③：ポケット時刻表の作成・配布（平成 25 年 10 月以降）

（３）作業３：連携計画の評価

平成２５年度は、「豊川市地域公共交通総合連携計画」の短期計画期間の最終年度に当たるため、事業評価を行い、平成２６年度以降の見直しの考え方やスケジュールを検討します。

評価に向けて以下の３つの調査を行い、バスの利用者や非利用者など様々な意見を集め、課題を把握していきます。

年度	短期			中長期						
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
公共交通会議	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
日常的利用者数調査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
詳細な利用者数調査	●	●	●			●				●
利用者アンケート	●	●	●			●				●
市民アンケート			●			●				●
計画の評価			●			●				●
計画の目標数値見直し						□				
基幹路線の評価			●			●				●
基幹路線の改善	□	□	●	□	□	●	□	□	□	●
地域路線の評価・改善	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

□:必要に応じて適宜実施

出典：豊川市地域公共交通総合連携計画書 より抜粋

①調査１：市民アンケート調査

- 内容：目的別の日常的な移動特性、豊川市コミュニティバスに関すること等を把握。
- 調査方法：市内５，０００世帯を無作為抽出し、郵送配布、郵送回収。

②調査２：バス利用者調査（ＯＤ調査・アンケート調査）

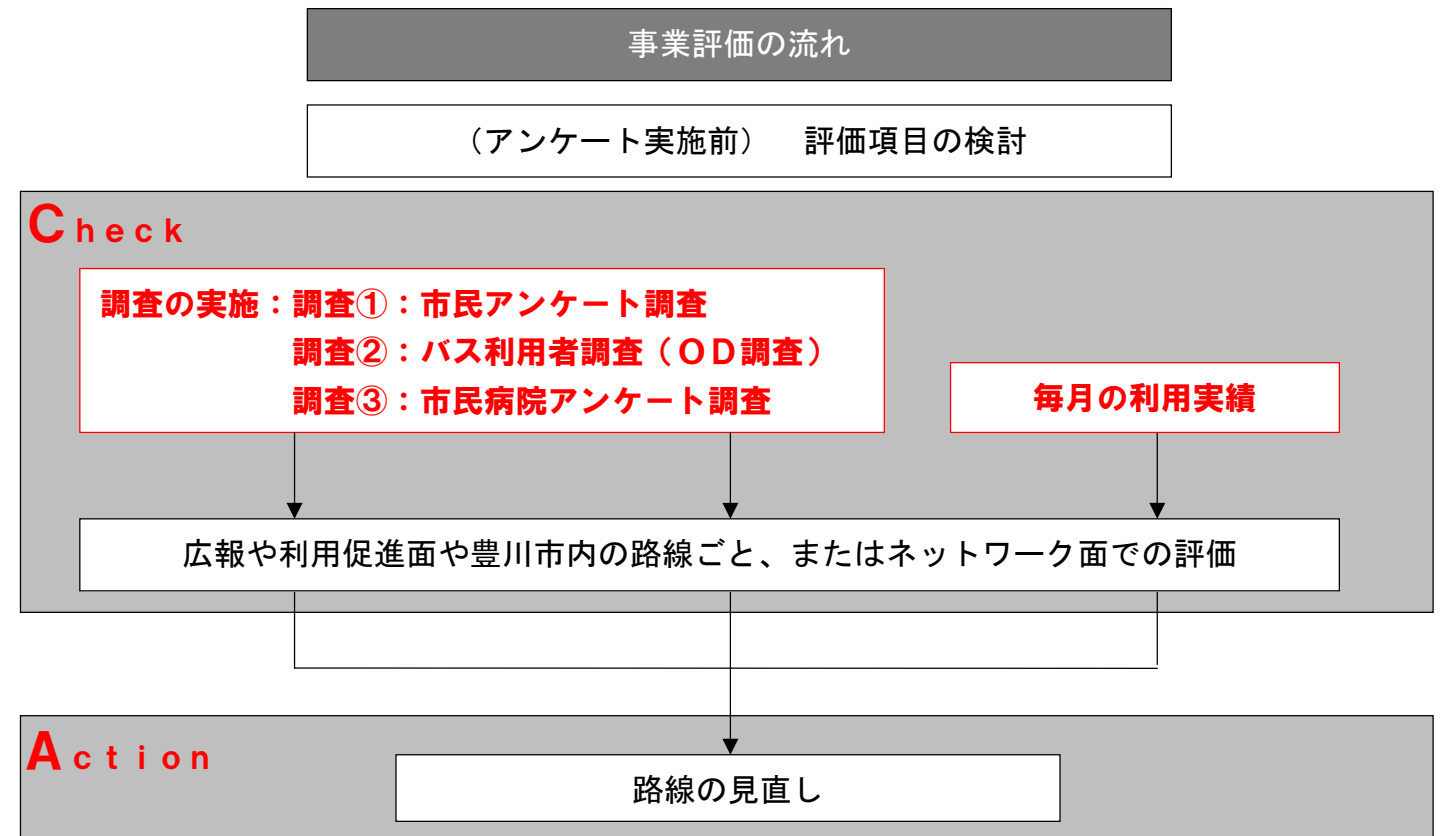
- 内容：路線ごとに利用者一人一人の乗車バス停と降車バス停を把握するＯＤ調査により、移動区間を把握。調査は複数日実施予定。（豊鉄バス１日、その他コミュニティバス複数日）
- 調査方法：豊川市コミュニティバス及び豊鉄バス「新豊線・豊川線」の調査日の全便に乗車し、アンケート調査票とＯＤカードを配布。路線によっては運転手に配布を依頼。

③調査３：市民病院来訪者アンケート調査

- 内容：開院した病院への来訪手段・頻度、豊川市コミュニティバスの課題等を把握。
- 調査方法：市民病院来訪者１，０００人程度に対し、アンケート用紙を配布、郵送回収。

これら調査結果より、課題を整理し連携計画の評価を行います。

連携計画の評価後、地域の特徴などに応じて、路線計画の見直し案や見直しイメージを作成します。



（４）作業４：生活交通ネットワーク計画の整理

作業（１）の運行計画の見直し及び作業（３）の路線評価を踏まえながら、補助の引き続きの適用へ向けて生活交通ネットワーク計画のとりまとめや修正を行います。

6. 【協議事項】平成 25 年度に実施するバス路線の見直し

6-1 音羽線「国府駅～ヤマナカ御油店」のルート変更

音羽線は現在、国府駅とヤマナカ御油店の間は、国道 1 号の旧道（県道 374 号線）を通過していますが、地域住民からの道路幅が狭い区間での事故に対する懸念や、バスの遅延等が発生する点などを考慮し、国道 1 号を経由するルートに変更します。（バス停は設置しません。また、ダイヤ等の変更はありません。）

変更は平成 25 年 10 月を予定しており、合わせて生活交通ネットワーク計画も変更します。



図-9) ヤマナカ御油店周辺の拡大図

【音羽線】

片道延長：国府駅方面

10.2 km (19.5 km) → 10.1 km (19.4 km)

グリーンヒル音羽方面

11.1 km (20.4 km) → 11.0 km (20.3 km)

所要時間：変更なし 29分（63分）

※（ ）内は市役所まで直通した場合の数値

6-2 豊川国府線・音羽線・御津線「八幡町」バス停標識の位置変更

豊川国府線・音羽線・御津線の「八幡町」バス停標識の位置を変更します。

豊川体育館前・豊川駅方面のバス停について、姫街道の拡幅工事に伴い、右折レーンに入りにくくなりました。定時性の確保および安全運行の面から、バス停標識の位置を下図のように移動します。バス停の移動は8月1日を予定しています。



変更前（現在）	変更後

6-3 音羽線「よらまい館」バス停のバス停標識の両側設置（事後報告）

音羽線のよらまい館バス停のバス停標識は、グリーンヒル音羽方面のみ設置していましたが、沿線住民からの要望により、国府方面行のバス停標識を5月1日に設置しました。



グリーンヒル音羽方面バス停



国府駅方面バス停（新設）

7. 【協議事項】生活交通ネットワーク計画

7-1. 平成26年度事業分について

1. 生活交通ネットワーク計画に記載が必要となる事項

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者
4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
5. 別表4の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要※1
6. 別表4の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧※1
7. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要
8. 車両の取得に係る目的・必要性※2
9. 車両の取得に係る定量的な目標・効果※2
10. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額※2
11. 協議会の開催状況と主な議論
12. 利用者等の意見の反映
13. 協議会メンバーの構成員

※1：陸上交通の「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用するため、記載の対象外

※2：補助対象期間内での車両の新規購入がないため、記載の対象外

2. 生活交通ネットワーク計画の内容

2-1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

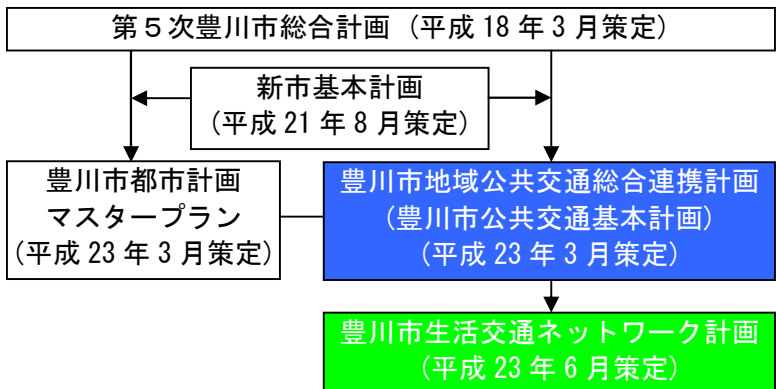
(1) 背景と目的

豊川市の市民の移動ニーズは主に市の中心部にありますが、バス路線は合併前の行政単位で運行し、市内の移動の足としての役割を十分果たしていない状況にあったため、市域を一体化するためにバス路線を再編しました。

(2) 必要性

豊川市では、平成23年3月に、市域全体の公共交通の基本的なあり方を定める「豊川市地域公共交通総合連携計画（豊川市公共交通基本計画）」を策定し、この計画に基づいて新設バス路線による運行を平成23年11月1日から運行を開始しています。

これら生活交通の確保を総合的な施策により確実に実行し、かつ継続していくため、地域公共交通確保維持改善事業に取り組む必要があります。



2-2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

「豊川市地域公共交通総合連携計画（豊川市公共交通基本計画）」で掲げた将来像、基本方針、目標の実現に向けて取り組みます。

将来像	市域全体を一体化し、みんなで支える公共交通ネットワークづくり
基本方針	(1) 市域全体の一体性を高める路線と地域に合った路線を、それぞれの役割に応じたサービスで導入 (2) 公共交通の利便性を高め、移動制約者が移動しやすい交通体系 (3) 行政、交通事業者、市民・地域・利用者が、それぞれの役割により協働で公共交通を支える仕組みづくり (4) 定期的な公共交通の評価の実施、継続的な路線の見直し・改善

基本目標

- (1) 鉄道や民間バス路線と連携し、各路線の役割分担を明確にして公共交通ネットワークをつくれます
- (2) 人口や施設の分布状況により、市域をいくつかのエリアに分けて路線をつくれます
- (3) 市民の移動ニーズやまちの活性化など、目的に合った路線とします
- (4) 地域特性や需要に応じた交通システムを採用します
- (5) 利用しやすい料金体系にします
- (6) 地域で必要な路線の運行確保は、地域主体とします
- (7) 公共交通利用促進に繋がる様々な取り組みを行います

目 標		現状 (基準年)	数 値 目 標
目標 1	市内を運行するバス路線※の利用者数の増加	49,807 人/年 (H21 実績)	9 万人/年
目標 2	公共交通の利便性の市民満足度の向上	42.9% (H21 実績)	48%
目標 3	地域主体で検討したバス路線の運行実施地域数の増加	0 地域 (H21 実績)	4 地域
目標 4	市内を運行するバス路線の収支率の向上	14.8% (H21 実績)	13% (地域路線：15%)

※「市内を運行するバス路線」については、市内と市外を結ぶバス路線は除きます。

(2) 事業の効果

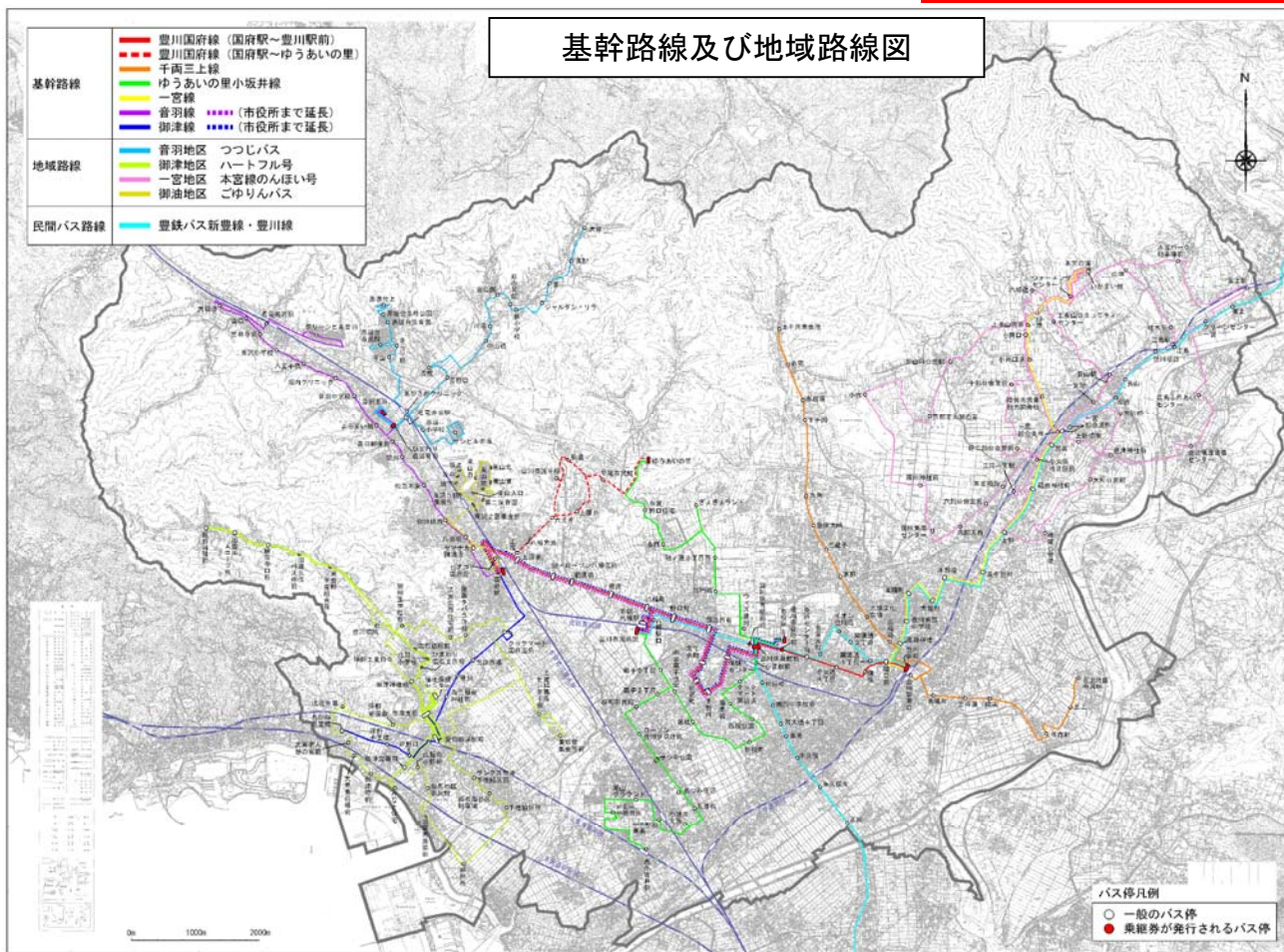
定量的な目標を達成することにより、次の効果が期待されます。

- ・豊川駅、国府駅、諏訪地区を交通結節点とする市域を一体化するネットワークの構成により、市の中心部へのアクセス利便性の向上
- ・公共交通の満足度の向上による公共交通の利用者数の増加
- ・地域主体で取り組む路線の増加による公共交通の利用意識の向上
- ・市の面積に占めるバス利用勢圏のカバー率の向上
- ・適切なサービス水準で、効率的な運行により持続性のある生活交通の確保

2-3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

(1) 運行路線

市民病院経由による路線変更



(2) 運行系統の概要

区分	路線名		運行本数	運行日	使用車両
基幹路線	豊川国府線		12 便/日	毎日	小型バス 1 台
	千両三上線		14 便/日	毎日	ジャンボタクシー 1 台
	ゆうあいの里小坂井線		10 便/日	毎日	ジャンボタクシー 1 台
	一宮線		8 便/日	毎日	中・大型バス 1 台
	音羽線	国府駅止まり	5 便/日	毎日	ジャンボタクシー 1 台
		市役所直通	5 便/日	毎日	
	御津線	国府駅止まり	6 便/日	毎日	ジャンボタクシー 1 台
		豊川市民病院直通	2 便/日	毎日	
		市役所直通	8 便/日	毎日	
地域路線	音羽地区 つつじバス		7 便/日	毎日	ジャンボタクシー 1 台
	御津地区 ハートフル号	金野・北部小線	1 便/日	月～金曜日	ジャンボタクシー 1 台
		金野・豊沢線	6 便/日	月・水・金曜日	
		赤根・大草線			
		上佐脇・広石線	6 便/日	火・木・土曜日	
	一宮地区 本宮線 のんほい号	東回り	2 便/日	火・水・木 土曜日	ジャンボタクシー 1 台
		中回り	4 便/日		
		西回り	4 便/日		
	御油地区 ごゆりんバス		6 便/日	毎日	ジャンボタクシー 1 台

市民病院経由に伴う
運行本数の変更等

※1：運休日について

- ・基幹路線の全線、地域路線の音羽・御津・御油地区は、年始の1/1～1/3を運休
- ・御津地区の金野・北部小線については、夏休み期間中の8/1～8/31を運休
- ・地域路線の一宮地区は、年末年始の12/29～1/3を運休

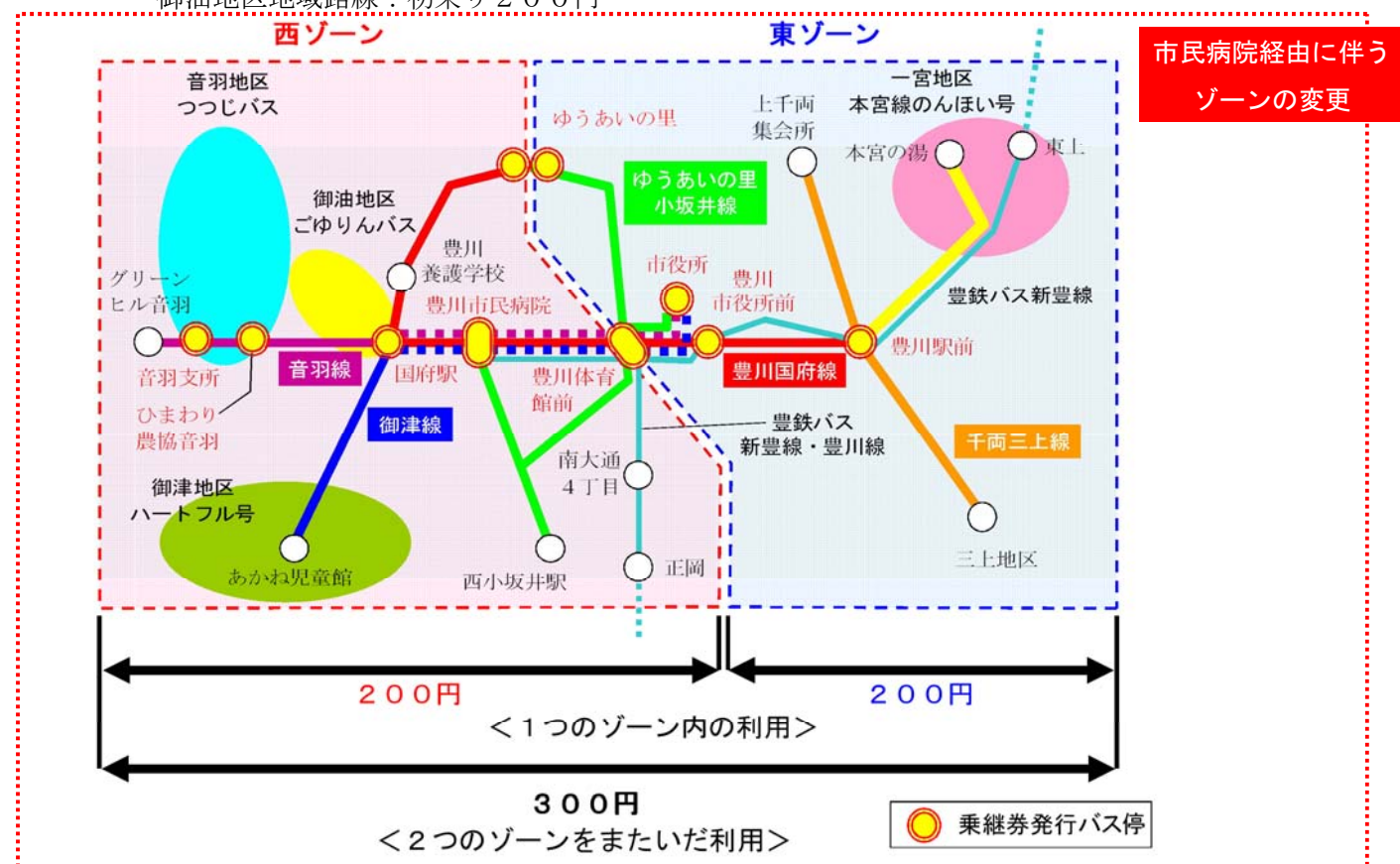
※2：迂回路での運行について

- ・年始の豊川稲荷参拝客による道路混雑を避けるため、豊川国府線、千両三上線、一宮線は、1/4以降の平日を含む日曜までと次週の土日祝日は迂回路で運行

(3) 料金

料金体系は、「豊川体育館前バス停」をゾーンの境界として2ゾーンに分割します。

- ・基幹路線：初乗り200円 ゾーンを跨ぐ場合100円加算
- ・音羽地区地域路線：初乗り200円
- ・御津地区地域路線：初乗り100円
- ・一宮地区地域路線：初乗り100円
- ・御油地区地域路線：初乗り200円



＜各路線へのゾーン制の適用＞

広域路線	豊鉄バス新豊線・豊川線	・ゾーン制を適用（ただし、他の路線への乗継は、乗継先の初乗り料金を支払って乗車）
基幹路線	一宮線を除く路線	・ゾーン制を適用
	一宮線	・ゾーン制を適用（ただし、他の路線への乗継は、乗継先の初乗り料金を支払って乗車）
地域路線	音羽地区地域路線	・西ゾーン内の路線として扱い、ゾーン制を適用
	御津地区地域路線	・基幹路線の御津線への乗継は、乗継先の初乗り料金を支払って乗車
	一宮地区地域路線	・基幹路線の一宮線への乗継は、乗継先の初乗り料金を支払って乗車
	御油地区地域路線	・西ゾーン内の路線として扱い、ゾーン制を適用

＜その他の料金設定＞

- a. 未就学児：半額。ただし、同伴者1人につき1人まで無料
- b. 小学生：半額（※御津地区地域路線では、小学生は通常料金を適用）
- c. 身体障害者手帳及び療育手帳を所持している方と、その付添人1人：半額

ネットワーク計画変更箇所

(4) 地域公共交通確保維持改善事業の活用路線

補助事業の基準への適合性を考慮して、陸上交通の「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（以下、地域内フィーダー系統と略す。）」を活用することとし、基幹路線5路線、地域路線1路線を対象とする。

路線区分	補助対象系統	補助対象事業者
基幹路線	豊川国府線 （国府駅～豊川養護学校、国府駅～ゆうあいの里の運行系統は除く）	豊鉄バス株式会社
	千両三上線 ゆうあいの里小坂井線 音羽線（市役所直通系統のみ対象） 御津線（市役所直通系統のみ対象）	豊鉄タクシー株式会社
	地域路線	一宮地区地域路線（東・中・西回りの3系統）

2-4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

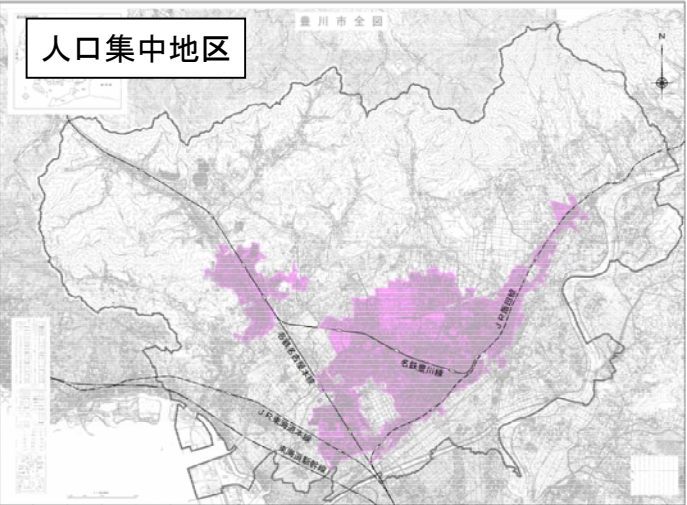
運行事業者名	運行系統名	確保維持事業に要する 国庫補助額(千円)			国庫補助上限額 (千円)
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度
豊鉄バス(株)	豊川国府線	7,885.5	7,929.0	7,951.0	6,100
豊鉄タクシー(株)	千両三上線	4,971.0	4,998.0	5,011.0	17,662
	ゆうあいの里 小坂井線	5,985.0	6,018.5	6,035.0	
	音羽線	3,542.0	3,561.5	3,571.5	
	御津線	5,173.0	5,201.5	5,216.0	
	一宮地区地域 路線東回り	679.0	679.0	679.0	
	一宮地区地域 路線西回り	1,241.0	1,241.0	1,241.0	
	一宮地区地域 路線中回り	1,238.5	1,238.5	1,238.5	
合 計		30,715	30,867	30,943	23,762

平成26年度補助額の追加

ネットワーク計画変更箇所

2-5. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

(単位：人)	
	人口
人口集中地区以外	66,080



2-6. 協議会の開催状況と主な議論

開催年度	会議回数	会議開催日
平成20年度	第1回会議	平成21年 2月13日 (金)
平成21年度	第2回会議	平成21年 5月 1日 (金)
	第3回会議	平成22年 1月25日 (月)
	第4回会議	平成22年 3月30日 (火)
平成22年度	第5回会議	平成22年 7月20日 (火)
	第6回会議	平成22年10月26日 (火)
	第7回会議	平成23年 1月18日 (火)
平成23年度	第8回会議	平成23年 3月23日 (水)
	第9回会議	平成23年 5月24日 (火)
	第10回会議	平成23年 6月24日 (金)
平成24年度	第11回会議	平成23年10月31日 (月)
	第12回会議	平成24年 3月23日 (金)
	第13回会議	平成24年 6月19日 (火)
平成25年度	第14回会議	平成24年 8月27日 (月)
	第15回会議	平成25年 1月22日 (火)
	第16回会議	平成25年 3月25日 (月)
平成25年度	第17回会議	平成25年 6月18日 (火)

平成24年度会議日程の追加

2-7. 利用者等の意見の反映

これまでに、利用者アンケートを2回、住民アンケートを2回、パブリックコメントを1回、住民説明会を4回行った。

2-8. 協議会のメンバー構成

豊川市地域公共交通会議の委員として、主宰市3名、都道府県1名、交通事業者及び事業者団体4名、地域住民・利用者8名、地方運輸局1名、運転者が組織する団体1名、道路管理者3名、都道府県警察1名、学識経験者2名の、計24名で構成しています。

8. 【協議事項】利用促進に関する取組み

8-1. 今年度の利用促進に関する取組み

平成25年度の利用促進に関する取組みを以下に示します。

実施月	取組み内容
平成25年 7月20日～9月1日	夏休み小学生50円バスの実施
平成25年 10月	バススタンプラリーの実施
平成25年 10月以降	ポケット時刻表の作成・配布

8-2 夏休み小学生50円バス 実施（案）

豊川市と豊鉄バスでは平成25年の夏休み期間中、小学生運賃を一律50円とするキャンペーンを行う予定であり、期間中一部路線の運賃に変更があります。

対象路線や実施方法、乗継の停留所を以下に示します。

（1）対象路線：豊川市内のバス路線

- 豊鉄バス
豊川線、新豊線（2路線）
- 豊川市コミュニティバス
豊川国府線、一宮線（豊鉄バス）
千両三上線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線、音羽地域路線、御津地域路線、一宮地域路線、御油地域路線（豊鉄タクシー）、（10路線）

※東三河地域（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村の自治体）において高速バスを除く全バス路線が対象となります。

（2）実施期間

- 平成25年7月20日（土）～9月1日（日）夏休み期間中

（3）対象者

- 小学生

（4）実施方法

- 期間中、小学生運賃均一50円で統一します。
※大人1人に幼児2人の場合、幼児1人は無料となるが、2人以降は50円とします。
- 期間中については、小学生はゾーンを超えて乗車しても50円とします。
※市内全て50円で乗車できるようにします。（25円設定は行わない。）
乗継ぐ場合、1乗車目のバス降車時に50円を支払い乗継ぎ券を受け取り、2乗車目以降の降車時は乗継ぎ券のみで利用可能とします。

（5）広報など

- ・ 7月15日号広報掲載
- ・ ホームページ掲載
- ・ 東三河地区の全校小学生を対象にチラシ（A4両面）を配布
- ・ 小学校、公共施設でのポスターの掲示

（6）乗継バス停

乗継バス停名称を以下に示します。

	第一乗車（第二乗車）	第二乗車（第一乗車）
本宮の湯（いかまい館）	一宮線	一宮地区地域路線
一宮総合支所	一宮線・新豊線	一宮地区地域路線
豊川駅前	新豊線・豊川線・一宮線	千両三上線
	豊川国府線	千両三上線
	新豊線・豊川線・一宮線	豊川国府線
豊川市役所前（市役所）	新豊線・豊川線	御津線・音羽線
	新豊線・豊川線	豊川国府線
	新豊線・豊川線	ゆうあいの里小坂井線
	御津線・音羽線	ゆうあいの里小坂井線
	豊川国府線	ゆうあいの里小坂井線
豊川体育館前	新豊線・豊川線	御津線・音羽線
	新豊線・豊川線	豊川国府線
	新豊線・豊川線	ゆうあいの里小坂井線
	御津線・音羽線	ゆうあいの里小坂井線
	豊川国府線	ゆうあいの里小坂井線
豊川市民病院	新豊線・豊川線	ゆうあいの里小坂井線
	豊川国府線・音羽線・御津線	ゆうあいの里小坂井線
	新豊線・豊川線	豊川国府線・音羽線・御津線
国府駅	豊川国府線	豊川国府線（豊川養護）
	豊川国府線	御津線・音羽線、 御油地区地域路線
	御津線・音羽線・ 御油地区地域路線	豊川国府線（豊川養護）
	音羽線	御津線・御油地区地域路線
	御津線	音羽線・御油地区地域路線
	御油地区地域路線	音羽線・御津線
ゆうあいの里	豊川国府線	ゆうあいの里小坂井線
ひまわり農協音羽	音羽線	音羽地区地域路線
音羽支所	音羽線	音羽地区地域路線
クックマート国府店前	御津線	御津地区地域路線
愛知御津駅	御津線	御津地区地域路線
御津支所	御津線	御津地区地域路線
あかね児童館（前）	御津線	御津地区地域路線

8-3 バススタンプラリーの実施（案）

平成25年度も以下のようなスタンプラリーの開催を検討しています。

- (1) 実施期間

平成25年10月1日から31日まで
- (2) 対象路線

豊川市コミュニティバス全線
- (3) 対象者

バス利用者（1人何回でも参加可能）
- (4) スタンプ設置場所

バス車内で運転手が持っています
- (5) スタンプカード設置場所

バス車内、市役所北庁舎2階人権交通防犯課、一宮・音羽・御津・小坂井の各支所
- (6) スタンプカードサイズ

A5サイズ（※カードイメージは下図参照）
- (7) スタンプの押印条件

3種類のスタンプ3個、または1～2種類のスタンプ5個
- (8) スタンプの押印方法

バス車内で運転手が押印
- (9) 景品引き換え方法

市役所北庁舎2階人権交通防犯課、一宮・音羽・御津・小坂井の各支所でカードと交換
- (10) 景品交換時期

平成25年10月1日から11月8日まで（想定）
- (11) 景品

未定（昨年度はコン太くんフェイスタオル）

スタンプカードイメージ（昨年度使用したもの）

（表面）

【参加方法】

1. スタンプラリー実施期間中に、異なる5つのルートの豊川市コミュニティバスに乗って、降車の際に運転手に見せてスタンプを裏面に押してもらってください。
(スタンプはルートによって異なります。)

2. 3種類のスタンプ3個、または1～2種類のスタンプ5個を集めたら、下記の記念品進呈場所まで、この用紙をお持ちください。
先着500名様に記念品を進呈します。
※お一人様何回でも参加できます。

【記念品進呈期間】

平成24年11月1日（木）～12月10日（月）
(土曜日、日曜日、祝日を除く)
午前8時30分から午後5時15分まで
※記念品が無くなり次第終了します。

【記念品進呈場所】

①市役所北庁舎2階の地域安心課
②一宮・音羽・御津・小坂井の各支所

【お問い合わせ】

市役所市民部地域安心課
電話 0533-89-2149

豊川市コミュニティバス

運行1周年記念

スタンプラリー

スタンプカード

バスに乗って

スタンプを集めると記念品がもらえるよ！

【先着500名】

【実施期間】

平成24年11月1日（木）
～平成24年11月30日（金）

（裏面）

3種類のスタンプ3個、または1～2種類のスタンプ5個押してください！

【豊川市コミュニティバスで行ける主な施設】

①豊川国府線
豊川駅、豊川市役所、保健センター、文化会館、国府駅

②千両三上線
豊川駅、地域文化広場

③ゆうあいの里小坂井線
ゆうあいの里、ぎょぎょランド、ウィズ豊川、市民病院、小坂井支所、フロイデンホール、伊奈駅、西小坂井駅

④一宮線
本宮の郷（いかまい館）、ウォーキングセンター、一宮総合支所、豊川駅

⑤音羽線
音羽支所、ひまわり農協音羽、堀内クリニック、名電長沢駅、国府駅

⑥御津線
あかね児童館、愛知御津駅、国府駅

⑦音羽地域路線
音羽支所、ひまわり農協音羽、名電赤坂駅

⑧御津地域路線
御津支所、福祉保健センター、愛知御津駅

⑨一宮地域路線
本宮の郷（いかまい館）、一宮総合支所、三河一宮駅

⑩御油地域路線
国府駅、御油郵便局